

平成 17 年 12 月 18 日

練馬区長  
志村 豊志郎 様

練馬区立向山保育園および石神井町つつじ保育園  
運営業務委託事業者選定会議会長  
健康福祉事業本部長 高橋 覺

練馬区立向山保育園および石神井町つつじ保育園  
運営業務委託事業者選定について（報告）

練馬区立向山保育園および練馬区立石神井町つつじ保育園の運営業務委託事業者を下記のとおり選定しましたので報告します。

#### 記

1. 練馬区立向山保育園運営業務委託事業者  
社会福祉法人 多摩福祉会  
東京都多摩市永山三丁目 5 番地  
法人設立 昭和 47 年 12 月 11 日  
理事長 伊藤 亮子
2. 練馬区立石神井町つつじ保育園運営業務委託事業者  
特定非営利活動法人 未来こどもランド  
東京都練馬区石神井町八丁目 1 番 11 - 211 号  
法人設立 平成 17 年 9 月 26 日  
理事長 相澤 愛

## [選定の経過]

1. 練馬区立向山保育園および石神井町つつじ保育園運營業務委託事業者選定会議（以下「選定会議」という。）は、平成17年11月7日に第1回を開催し、応募事業者によるプレゼンテーション、園長候補者等に対するヒアリングを経て、12月18日の選定に至るまで、計7回の会議を行った。  
第1回目の選定会議においては、最終的な事業者の選定は「評点結果ならびにそれぞれの区立保育園の運營業務委託事業者としてふさわしいかの観点から、選定委員の合議により決定する。」などとした「選定方針」を確認した。
2. 第2回目の選定会議では、審査項目や配点の考え方、採点の加重項目、最低基準の取扱い等について議論し、審査基準表を確定するとともに、園長候補者等に対するヒアリング項目や時間配分等について確認した。
3. 第3回目の選定会議では、応募のあった10事業者に対するヒアリングを実施した。事業者が予定している園長候補者に対し、保育理念、運営方針、向山・つつじ保育園の保育継承、障害児保育、危機管理、地域支援、職員の育成等についてそれぞれの考えを選定会議委員がヒアリングを行った。
4. 第4回目の選定会議では、向山保育園ならびに石神井町つつじ保育園の保護者が傍聴する中、応募10事業者のプレゼンテーションが行われた。
5. 第5回目の選定会議では、事務局から「現地調査部会」の調査報告を受けた。「現地調査部会」は、応募事業者の運営する保育施設を実地に調査するため選定会議の下に設置するもので、民間調査機関、区立保育園園長経験者、区内私立保育園園長等、保育課栄養指導主査で構成されている。そのうち、民間調査機関からは直接委員に対し調査結果の報告があった。各委員からは、現地での子どもの様子、保育士の姿勢、地域的な背景、園長の権限等について質疑が行われた。  
また、あらかじめ公認会計士に委託していた応募事業者の経営診断の結果も報告され、その内容については選定の最終段階で参考にする旨確認した。
6. 第6回目の選定会議では、各委員の評点結果が報告され、両保育園の委託事業者の選定に向けた議論を行った。

評点結果では、両園とも第 1 位は社会福祉法人多摩福祉会であった。しかし、委託はどちらか一方のみとあらかじめ事業者の説明しており、事務局を通して意思を確認したところ、多摩福祉会は向山保育園の委託を希望したため、評点結果としては、多摩福祉会が向山保育園の第 1 位となり、石神井町つつじ保育園は、第 2 位の未来こどもランドが繰り上がった。

つぎに、評点結果を踏まえた上で、さらに総合的な観点から審査を行ったが、これについてはいくつかの指摘があり、委員間で議論した。議論の結果、多摩福祉会については準備期間の考え方について、未来こどもランドについては区の支援体制のあり方について、さらに調査検討を要することとなり、委託事業者の選定は次回に行うこととなった。

7. 第 7 回の選定会議では、評点結果上位の多摩福祉会ならびに未来こどもランドについて、受託適格について総合的な観点から議論を行い、両園の委託事業者について最終的な選定を行った。

(1) 社会福祉法人多摩福祉会

多摩福祉会は、1 歳児から 5 歳児までの異年齢統合保育を行うなど、保育理念や保育手法に強い個性を持った法人である。そのため、区立向山保育園の保育を維持継承するとして今回の練馬区の委託方針に果たして合致するかどうかの懸念が委員の中から出された。しかし、多摩福祉会は 33 年の歴史と伝統をもった社会福祉法人であり、現地調査部会の評価も押しなべて高く、十分な実力が認められることから、向山保育園の委託事業者として選定すべきであるとの結論に至った。

(2) 特定非営利活動法人未来こどもランド

未来こどもランドは、委託に当初反対していた保護者が自分達で受け皿をつくり、区から運営を受託することを目的に立ち上げた NPO 法人であり、このような組織はおそらく稀有な例である。熱意はあるものの事業者として保育施設の運営実績がなく、提案書等に記載された内容を実証することが困難な点が評価にあたって最大の問題点であった。実績のない法人による事業運営について、その安定性や継続性に対する強い不安感が複数の委員から表明される一方で、運営の考え方や、法人の組織体制、サポートスタッフが優れているとの意見も出るなど、各委員の間で評価が分かれた。あらためて慎重に審査を行った結果、未来こどもランドは、保護者の強い支持があること、今回の応募団体で唯一の区内事業者であり、地域住民との協働による地域の子育て力を育むことは、練馬区次世代育成支援行動計画の重要な柱でもあることから、選定会議は、未来こどもランドを石神井町つつじ保育園の委託事業者として選定することに決定した。

向山・石神井町つつじ保育園運営業務委託事業者評点結果

番号	種別	事業者名	向山		石神井町つつじ		応募先	
			合計	順位	合計	順位	向山	つつじ
1	株式会社	グレース			5348	6		
2	株式会社	サクセスアカデミー	5876	5	5876	5		
3	社会福祉法人	清心福祉会	6039	4				
4	社会福祉法人	多摩福祉会	6776	1	6776	1		
5	株式会社	日本医療事務センター	5579	6				
6	株式会社	パソナフォスター	6095	3	6095	4		
7	株式会社	プロケア	6147	2	6147	3		
8	NPO	未来こどもランド			6276	2		
9	社会福祉法人	ゆたか会	4171	7	4171	8		
10	株式会社	ライフサポート			5024	7		

(アイエオ順)

練馬区立向山保育園および石神井町つつじ保育園  
運營業務委託事業者選定会議

1 委員

大妻女子大学教授	大場 幸夫	
東洋英和女学院大学教授	大嶋 恭二	
健康福祉事業本部長	高橋 覺	会長
企画部長	村松 昭	副会長
総務部長	藤田 尚	
保健福祉部長	犬塚 隆	
児童青少年部長	河口 浩	

2 選定会議の経過

第1回選定会議	平成17年11月7日(月)	
第2回選定会議	平成17年11月18日(金)	
第3回選定会議	平成17年11月19日(土)	事業者ヒアリング
第4回選定会議	平成17年11月20日(日)	事業者プレゼンテーション
第5回選定会議	平成17年12月4日(日)	
第6回選定会議	平成17年12月11日(日)	
第7回選定会議	平成17年12月18日(日)	